
魔法少女リリカルなのはStrikerS-あなたの騎士-

nizigener

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikers - あなたの騎士 -

【Nコード】

N2034BA

【作者名】

nizigener

【あらすじ】

機動六課に入ることになったリオル＝ハルバート、教導官のなのはや

執務官のフェイト

とともに

スバル達の教導にあたる。

そんな中

恨みや恋がいつの間にか生まれていく……。

1 明日への予感（前書き）

はじめての投稿です。

なのはのアニメは3期まで見ましたが

勘 と 感覚 で書いてるので

見苦しい点もあるかもしれませんが
よかったら感想下さい。

1 明日への予感

「魔力全開イ!!!」

もうすぐゴール

そんな時

足を挫いて私におぶさっている相方が言う

「ちょっと、あんた！止まるときのことを考えてるんでしょっつねっ」

！

しまった

「えっ、…ああ！」

「うそお！」

「あっ、なんかちよいヤバです。」

二人は高速でゴールにつっこむ。

「ひゃああああ！」

……

「アクティブガード、ホールディングネットもかな。」

【active guard、with、holding net】

ものすごい爆音を桃色の魔法が包んだ。

全力で突っ込んだ

スバル「ナカジマ

その肩から跳び落ちた

ティアナ「ランスター

2人とも魔力による網により衝撃から免れた。

「むう！

2人とも危険行為で減点ですう！

がんばるのはいいですけど怪我をしては元も子もないんですからね
……！」

怒りながら降りてきたのは

ラインフォースツヴァイ曹長。見た目は小さいが夜天の書のプログ

ラムに関わる人物（？）だ。

「まあまあ2人とも無事だったんだし、とりあえずこれで試験は終了ね。お疲れ様。」

そう言いながら、

高町なのは

は試験が終了した2人を

網からそつと魔力で地面に下ろしてあげた。

「ラインもお疲れ様、ちゃんと試験官できてたよ。」

「わ〜い！ありがとうございます、なのはさん。」
「リンは小さな体をいっぱい広げて喜んでる。」

「さて…、ランスター二等陸士、」

「あっ、はい！」

「怪我は足だね、治療するからブーツぬいで。」

「あっ治療なら私がやるですよ。」

「リンがティアナのもとへ向かう。」

「ああすいません。」

「そんな中スバルは立ち尽くしていた。」

「なのは…は…さん。」

「ん？」

「彼女はスバルの方を向く」

「あっいえ、高町教導官、一等空尉！」
「慌てて言い換えるスバル」

「なのはさんでいいよ。」
「みんなそう呼ぶから」

「……四年ぶりかな、」
「背伸びたね…スバル」

「えっ！あの……」

「うん、また会えて嬉しいな。」

嬉しくて泣いてしまっスバル

「ランスター二等陸士はなのはさんのことご存知ですか？」

「あっ、はい！」

戦闘訓練の教導官、

管理局魔導師の若手ナンバーワン

高町なのは一等空尉」

「はい」

頷くりイン。

泣き喜ぶスバル

なだめるなのは

治療をするリイン

してもらっティアナ

そんな彼女達をへりから眺めていた

2人の人物

フェイト「テストロッサ」ハラウン執務官。
八神はやて二等陸佐

「ひよっとして知り合い？」

「ほらあれやよ、前に起こった空港火災。」

「ああ私となのはが遊びにきてた時の」

「スバルはなのはちゃんが助けた用救助者の一人で、フェイトちゃん
んはスバルのお姉ちゃんを助けてるんよ。」

「本当に？女の子を助けたのは覚えてるけど、」

「そう、その子や。」

なのはがこっちを見てる、

隣のスバルは慌てて敬礼してる
私も敬礼する。

「なのはからして二人は合格かな？」

「さあ、どうやらね。」

「3人には明日から時空管理局本部の陸士部隊
『機動六課』に入り
教官 また 部員として働いてもらう」

そんなことを我らが隊長は言い出した。

「おい！ディルミス！聞いているのか！」

「き、聞いてますよ！」

どなるのは

我らが隊長様

メリティア「ツクラート

なんと口調に似合わず女性だ

どなられたのは

俺の親友

ディルミス「フォール

「ずいぶん急な話ですね」

「『機動六課』の八神はやて二佐から連絡があつてな。」

丁寧に隊長と話すが

これまた親友の

ホシカゼ「マツナ

「明日の朝3時出発だ、早く支度して、寝ろ！以上。」

ちよつ、朝3時かよ
いきなりすぎだな

ん？俺か？

俺はリオル＝ハルバート

ツクラート隊長率いる

時空管理局支部特殊戦闘部隊の一員だ

ちなみにさっきの

ディルミスとマツナも

この部隊のメンバーだ。

超展開で俺達も理解してないけど明日から忙しくなりそうだな。

1 明日への予感（後書き）

今回はアニメとほとんど同じです。

（あまり再現できてないけど）

作者（以後、私）
は

フェイトちゃんが大好きなので

どういう展開かは予想がつきませんが、

オリキャラが4人と多めの設定で、原作に無い話も多数展開していくつもりです。

原作キャラとストーリーは崩壊しないようにがんばります。
よろしければ、今後もお覧下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2034ba/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS-あなたの騎士-

2012年1月5日01時46分発行